

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月28日

【評価実施概要】						
事業所番号		3870104514				
法人名		医療法人 慈孝会				
事業所名		グループホームふくずみ				
所在地		松山市福角町甲616-1 (電話) 089-911-8700				
管理者		大久 朱実				
評価機関名		特定非営利活動法人 JMACS				
所在地		松山市千舟町六丁目1－3チフネビル501				
訪問調査日		平成20年6月13日	評価確定日	平成20年8月28日		
【情報提供票より】 (平成20年6月1日事業所記入)						
(1) 組織概要						
開設年月日		平成16年12月1日				
ユニット数		1 ユニット	利用定員数計	9 人		
職員数		8 人	常勤	4人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.8人		
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)						
家賃 (平均月額)		33,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷 金		有 (円) (無)				
保証金の有無 (入居一時金含む)		有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無		
食材料費		朝食	350 円	昼食	350 円	
		夕食	400 円	おやつ	円	
		または1日当たり 1,100 円				
(3) 利用者の概要 (平成20年6月1日現在)						
利用者人数		9 名	男性 3 名	女性 6 名		
要介護1		1 名	要介護2	2 名		
要介護3		2 名	要介護4	4 名		
要介護5		0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均	84 歳	最低	70 歳	最高	94 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算						
指定 (あり)・なし		指定介護予防認知症対応型共同生活介護				
指定 あり (なし)		指定認知症対応型通所介護				
届出 あり (なし)		短期利用共同生活介護				
加算 (あり)・なし		医療連携体制加算				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
●職員は、利用者一人ひとりとゆったりとかかわることを心がけておられ、その時々には話されることに耳を傾け、思いの把握に努めておられる。 ●利用者の希望がある時には、できるだけ外に出ることを支援されている。気ままに出かけられる方にも、職員がそっと付き添っておられる。 ●朝食はパン・ごはんを選べるようになっている。調査訪問時、台所で職員とともに食事の準備等をされている利用者の姿がうかがえた。畑で収穫した野菜が食事時、話題になっていた。 ●夜間、入浴される方も支援されている。浴槽で温まりたいという利用者の方の願いを受けて、さまざまな高さの踏み台・手すり等が工夫されていた。	
【質向上への取組状況】	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4)	
・ 前回の評価結果を受けて、外に出る機会を増やすことに特に力を入れて取り組まれた。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)	
・ 職員で自己評価に取り組み、利用者の意欲や自信を回復できるような支援を行うことの大切さに気付かれた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)	
・ 事業所の現況報告や外部評価、研修受講の報告、避難訓練に参加していただけるよう働きかけを行われた。出席者から地域の情報を得ておられる。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)	
・ 家族会を開催し、「ケアプランとは？」等のご家族の疑問やご家族の思い、悩みを話し合う機会を作っておられる。	
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)	
・ 買い物や散歩時に、地域の方と挨拶を交わしておられる。運営推進会議や地元の職員等から地域の情報を得て、地域の行事に参加されている。	

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームふくずみ

(ユニット名) グループホームふくずみ

記入者(管理者)

氏 名 大久 朱実

評価完了日 平成 20 年 6月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「お一人お一人を大切に和と穏やかさを大切に」を理念に掲げ、地域で暮らすお一人お一人であるために、更に地域との関わりを密にしていける努力を行っている。	※	ボランティアの受け入れや家族の方への外出参加等を呼びかけている。
			(外部評価)		
			理念に基づき「地域に溶け込み地域に根ざすグループホームづくりに努める」を実践目標に掲げ、取り組まれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々のケア、ミーティングの中で共有し、実践に向けて取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			朝のミーティング時、理念を唱和し、ケアを行う中、困ったことやいろいろな意見がある場合、理念に立ち戻り、全職員で再考されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会や運営推進会議等で理解していただけるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的な散歩や買い物などに出かけ挨拶を交わしたり、話をしたりしている。開設記念の行事には近所に挨拶したり、地域の夏祭り防災訓練などに参加させて頂いて、交流を深めている。	※	地域の方や民生委員など、ボランティアの受け入れを行えるよう準備をしている。6/18には民生委員19名の方がGHを含む施設全体の見学が予定されている。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 初詣・祭り・運動会等に参加したり、保育所の園児との交流を図っている。	※	地域の行事に積極的に参加し交流が深められるよう支援していく。
			(外部評価) 買い物や散歩時に、地域の方と挨拶を交わしておられる。運営推進会議や地元の職員等から地域の情報を得て、地域の行事に参加されている。	※	さらに、事業所は、地域の方達に気軽に立ち寄ってもらえるホーム作りを目指しておられる。ボランティアの受け入れや、公民館等の掲示板に事業所のチラシを貼らせていただくことも計画されていた。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成として実習生の受け入れなどを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価スタッフ全員で行い、サービスの質の向上、また改善すべき点など話し合っている。結果においても、ミーティング等で報告し検討や実践に繋げるよう努めている。		
			(外部評価) 職員で自己評価に取り組み、利用者の意欲や自信を回復できるような支援を行うことの大切さに気付かれた。前回の評価結果を受けて、外に出る機会を増やすことに特に力を入れて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告し、話し合い、そこでの意見を活かしている。		出来るだけ全員の家族の参加を呼びかけ、1回でも参加していただけるよう、工夫していく。
			(外部評価)		
			事業所の現況報告や外部評価、研修受講の報告、避難訓練に参加していただけるよう働きかけを行われた。出席者から地域の情報を得ておられる。	※	市が開催する研修会「運営推進会議を活かした取り組み」への参加を予定されている。会議での話し合いが貴事業所のさらなるサービスの質の向上につなげていけるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営推進会議等に来て頂きケアアドバイスを頂いている。研修等に積極的に参加しサービスの向上に努めている。		
			(外部評価)		
			市の担当者に相談しながら取り組まれている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			理解を深めるため、研修等で理解を深めている。	※	将来的に必要な方が出てきた場合に、迅速な対応が出来るよう更に理解を深めていく。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修に参加している。日々のケアで見過されることがないように、ミーティングなどで取り上げ、防止に努めている。		研修等に参加し虐待について見過すことのないよう更に努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、理念・利用料金、起こりうるリスク、重度化や看取り、退去などを含めた事業所の対応について説明している。利用者の状態変化により契約解除に至る場合は、本人を交えて家族等と対応方針を相談し、同意していただいている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の言葉や行動から思いを察知し、利用者中心の運営に努める。その時々利用者の不安や意見は、記録しスタッフ全員が把握し、必要時にはミーティングを持ち、日々のケアに努めている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 面会時には声をかけ、暮らしぶりや健康状態等報告している。何らかの変化や問題があった場合は速やかに報告している。金銭管理は出納帳に記入し利用料金支払い日に、サインをいただいている。		
			(外部評価) ご家族の定期的な来訪があり、その際には、個々にお小遣いの管理状況、健康状態・暮らしぶり等の詳細を報告されている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会または個々において意見を頂いている。意見、要望においてはその都度ミーティング等で相談し、運営に反映できるよう努めている。意見箱を設置し、運営規定の概要および重要事項には公共の苦情相談窓口を記載している。また利用約款に苦情を処理する為の概要も添付している。		
			(外部評価) 家族会を開催し、「ケアプランとは？」等のご家族の疑問やご家族の思い、悩みを話し合う機会を作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			個人面談など意見を聞くよう心がけているが、把握しきれない部分もある。		現場を理解してもらえよう働きかける。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			利用者の自由な暮らしを出来る限り支えられるよう、利用者の状況やペースに合わせたローテーションを組んでいる。急病や急な休みに対して応援してくれる人員確保が出来難く、支援においても余裕が欲しい。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			基本的にはスタッフを固定化し、顔なじみのスタッフによるケアに努めている。		
			(外部評価)		
			職員の異動はなく、利用者と馴染みの関係が作られている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			スタッフのスキルアップのために研修に参加し、報告や伝達を行い、全員が閲覧できるようにしている。	※	スタッフ全員、できるだけ研修参加をして、知識・技術向上に努める。
			(外部評価)		
			今年度、管理者は「ケアの自己流を見直そう」ということを提案されている。管理者は、介護の基本を学ぶ研修等にも自ら参加する予定となっている。又、職員も積極的に受講できるようすすめておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			関連の事業所や研修施設等と情報交換の場や交流を持つことによりサービスの向上を目指している。6月に包括支援センター主催で地域の同業者交流会が予定されている。		地域の同業者交流会等に参加し、ネットワークづくりによりサービスの質の向上を図る。
			(外部評価)		
			研修会等の参加時には、他事業所と情報交換等をされている。	※	地域包括支援センター主催の交流会の機会を活かして、同業者との交流を深めていきたいと考えておられた。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			出来る限りスタッフの声を聴くようにしているが、休憩時間や居場所の確保が出来ず、ストレスが溜まりやすい。		休憩時間や休憩場所の確保が出来ない為、少しでもリラックスできるよう工夫をする。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			出来る限りスタッフの声を聴くようにしているが、現場の細かな状況や変化までは把握し難い。		スタッフの向上心が持てる職場環境を整える。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面談で生活状態を把握できるよう努め、本人や家族の求めていること、不安を受け止め安心してもらえるよう関係作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			家族が求めていることや不安に思っていることよく聴き、受け止め、安心して過ごしていただけるよう努めている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			本人や家族の思いを把握・確認し、改善に向けた支援をし、信頼関係を築きながら必要なサービスを提供できるように努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			できる限り本人や家族が、事業所を見学理解してもらう事からはじめ、スタッフや他の利用者、環境などに徐々に馴染み安心してサービスが受けれるよう提供している。		
			(外部評価)		
			入居間もない頃は、職員が側に居るようにされている。又、ご本人が不安を感じるようなときには、ご家族の協力を得ることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			利用者は人生の先輩であるという考えを念頭に置き、利用者に教えてもらうよう工夫や配慮をしている。喜怒哀楽を出せるよう配慮し、共に生活を楽しんでいる。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者から生活の中で「ことわざ」を教えていただいたり、ものの使い方等「もったいない」ことを教えてもらうことも多くある。調査訪問時、職員と利用者の楽しい会話や笑い声がよく聞こえていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子をできるだけ細かく伝え、本人を交え楽しいひと時を持てるよう心がけている。お茶、食事会や外出等を通して、本人を共に支えるよう工夫している。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族本人の思いや状況を見極めながら、外出や面会等で、家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に家族を誘ったりしながらよりよい関係の継続に努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの地域にドライブや散歩、買い物、墓参りに行ったり、知人の面会により継続的な交流ができるよう働きかけている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) お一人お一人の心身の状態、気分や感情を注意深く見守り把握し、孤立せず、お互いが支え合い、いい関係が持てるよう「和」を大切にしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスが終了しても、行事などに招待したり、遊びに来てもらうなど継続的な付き合いができています。推進会議にも継続して参加していただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中や、言葉や表情などからその真意を推し測ったり、確認するようにしている。意思疎通が困難な方には、家族の方から情報を得るようにし本人の意思を尊重できるよう努めている。		センター方式の活用に取り組んでいるが、まだまだ使いこなせていない為、長期戦でも計画的に取り組んでいく。
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりとゆったりとかかわることを心がけておられ、その時々話されることに耳を傾け、思いの把握に努めておられる。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人一人の生活リズムを理解すると共に、本人や家族の方からの情報を得、馴染みの暮らし方や生活習慣等の把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人一人の生活リズムを理解すると共に、心身、心理面の視点で、できることできないことに注目し、小さな行動からでも感じ取り、その人の全体像の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画に本人や家族の希望を取り入れ、計画に反映できるよう努めている。アセスメントを含めスタッフ全員で意見交換、モニタリング、カンファレンスを行い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			日々の生活記録やご家族にも意見をうかがい、利用者ご本人の気持ちや思いを最優先に介護計画を立てておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			三ヶ月ごとのに介護計画を作成している。利用者の急な病気や転倒等変化が生じた場合は、そのつど検討し見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			定期的な見直しの他、状態変化時には随時、見直しを行ってられる。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを作成し、介護計画に基づいた日々の記録に努めている。情報共有の徹底のため伝達簿等を用いたり、介護計画の見直しに努めている。		より簡潔により解りやすい記録作りに勉強会を持つ。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況や希望等に応じて、受診や入院の回避等、必要な支援には柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう支援している。併設のデイサービスとの行き来などもしており交流を図っている。		重度化した場合や終末期のケアに対応できるように取り組んでいく。
			(外部評価)		
			職員は、ご家族、ご本人の都合や希望に応じて、通院や個人的な外出にも同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が安心して地域で生活ができるよう、地域の様々な資源を見出し、活用している。		ボランティア等の受け入れに際し、研修等にて勉強を行っている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 介護保険以外での生活支援サービスを受けられるよう努め、必要に応じて、ケアマネージャー、サービス事業所等と話し合いをしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加してもらい、アドバイスをもらっている。地域包括支援センター主催の会が6月に予定されており参加予定である。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医にしている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて対応している。また、月2回訪問診療に来てもらっており、複数の医療機関と関係を密に結んでいる。		受診においては家族の協力も得られるように働きかけている。
			(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医の受診には、ご家族が付き添われたり、時に、職員も付き添い、医療機関と連携を図っておられる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 老人病院・精神科医等に受診相談して、指示・助言をもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。併設施設や協力病院の看護師の協力を得ている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			入院時には、情報を医療機関と交換し合い、見舞ったり、家族との情報交換もしながら回復状況を把握し、速やかな対応を行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			終末に対する看取りの指針を定め、事業所が対応しえる最大のケアに努めていく。重度化した場合は、状態の変化があるごとに医療機関と連携を取り、家族の気持ちや本人の思いを重視し、スタッフが一致して支援できるよう努めている。		
			(外部評価)		
			入居説明時、ご本人ご家族には、事業所の看取りの指針に沿ってお話をされている。事業所で最期を送りたいとご本人ご家族ともに希望をされている方もある。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			本人の気持ちを大切にしつつ、家族と話し合い、利用者が安心して終末期を過ごしていけるよう検討している。急変した場合は、すぐ対応できるよう医療機関との連携を図っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続が損なわれないように、生活環境、支援の内容、問題点について情報提供し連携を心がけ、ダメージを防ぐよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			日々のかかわり方を点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように注意しあっている。言葉遣いや記録においても一人一人のを尊重している。		
			(外部評価)		
			居室で一人で過ごされる時間も大切にされ、静かに見守るようにされている。居室・トイレ・浴室は、特にプライバシーに配慮し、ご本人に声をかけ、返事をもってから対応するように心がけておられる。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者に合わせて声をかけ意思表示が困難な方には、表情を汲み取ったり、些細なことでも本人が決める場面を作っている。(食べたいもの・飲みたいもの・するしない等)		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一日の流れの中で、一人一人の体調に配慮しながら、その日その時の本人の気持ちを重視し、できるだけ柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			排泄や入浴は、ゆっくりと行えるよう配慮されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせて支援し、おしゃれを楽しんでもらえるように支援している。カットや毛染めは本人や家族の希望により、ホームや美容室等を利用している。日々のケアの中で身だしなみにも注意を払っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理・盛り付け・片付けなども利用者と共に行い、可能な限りスタッフも一緒に食事ができるようにしている。利用者と一緒にとってきた畑の野菜を使うこともある。		
			(外部評価) 朝食はパン・ごはんを選べるようになっていた。調査訪問時、台所で職員とともに食事の準備等をされている利用者の姿がうかがえた。畑で収穫した野菜が食事時、話題になっていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人一人の思考を理解するよう努めている。本人の様子や時間を見ながら、そのときの好みを聴き、それらを楽しめるように支援している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるよう支援している。ケースにより個別で工夫している。特に日中は、出来るだけ布パンツにするよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一方的に決めず、その日の希望を確認し入っていただいている。一人一人の状態やタイミングに合わせて、気持ちよく入浴を楽しんでいただいている。就前入浴も希望があれば行っている。		
			(外部評価) 夜間、入浴される方も支援されている。浴槽で温まりたいという利用者の方の願いを受けて、さまざまな高さの踏み台・手すり等が工夫されていた。入浴剤を入れてお風呂を楽しむ方もある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を検討し、生活のリズムを整えるよう努めている。本人の生活習慣や体調等を考慮し、一人一人に合った睡眠や休憩を支援している。昼寝や一人での時間も考慮している。必要時眠剤も使用している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) マナー化しないよう注意を払い、得意分野で一人一人の力を発揮できるよう支援し、できたら感謝の言葉を伝えるようにしている。外出や買い物地域の行事参加などの楽しみごとを利用者と相談しながら行っている。		
			(外部評価) 利用者は皆さん、外出することを楽しみにされており、この一年間、外出の機会を多くし、楽しむ機会を増やされた。縫い物が得意な方には繕いものやボタン付けをお願いし、バレーボール観戦がお好きな方とテレビの前で応援もされることもある。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) できる範囲でお金を管理してもらっている。事業所が管理している人でも、外出時には自分で払っていただけるよう工夫をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気や本人の状態や希望に応じ、季節を肌で感じてもらい、心身のリフレッシュができるよう戸外でのおやつ・散歩・買い物・ドライブ等お弁当を持って出かけている。		
			(外部評価)		
			利用者の希望がある時には、できるだけ外に出ることを支援されている。気ままに出かけられる方にも、職員がそっと付き添っておられる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人の気持ちを聴き、可能な限りスタッフの調整や家族の協力を得て出かけている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に応じて、日常的に電話が使えるように支援している。手紙については希望がない。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間など定めてはおらずいつでも訪ねていただけるようにしている。スタッフは常に笑顔を心がけ湯茶などの用意をし、気軽に過ごしていただけるよう雰囲気や空間作りにも工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや日々の申し送りなどでその日のケアを振り返り、自覚しない身体拘束を行っていないか等を点検している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。外出しそうな様子を察知したら、話を聴いたり、気分転換をしたり、一緒についていく等配慮して、鍵をかけないよう努めている。どうしても対応困難と判断した場合のみ、時間を決めて施錠することがある。 (外部評価) 玄関は、鍵をかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフはできる限り利用者と同じ空間を共に過ごし、さりげなく全員の状況を把握できるよう努めている。時間毎に利用者の様子を確認すると共に、夜間帯は特に起きられたらすぐに対応できるよう夜勤者の居場所にも工夫している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを取り除くようなことはせず、利用者の状況、変化によっては注意を促していくなど、ケースに応じた対応をとっている。安全だけを重視するのではなく、本人の思いを受け止め、最善なる対応を心がけている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状況から予測される危険を検討し、事故を未然に防ぐための工夫をしている。またヒヤリハットを記録し、スタッフの共有意識を図っている。万が一事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防策について検討し、家族への説明と報告を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修を実施し、全てのスタッフが対応できるようにしている。 緊急時対応についてのマニュアルを整備している。		定期的に訓練し周知徹底をしていく。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成しており、地域の協力体制について地区会でお願いしたり、運営推進会議で協力を呼びかけている。年2回の消防署の協力を得て、避難訓練、消火器の使い方等の訓練を行っている。 (外部評価) 小学校で行われる地域の防災訓練に職員が参加し、地域の人々にホームを知ってもらおうと共に、いざという時に協力が得られるよう働きかけておられる。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりうるリスクについて、個別的・定期的な見直しを行っている。家族に対しては、自由な暮らしの大切さと、事業所の取り組みを丁寧に説明し理解を得られるよう努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段から体調や些細な変化も見逃さないよう、早期発見に努めている。食欲や顔色、様子などの変化が見られたときは、バイタルチェックを行い、状況により医師の指示を受ける。情報を伝達簿に記録し、共有に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアルの作成や、処方箋のコピー等をケース毎に整理し、スタッフが内容を把握できるようにしている。また、飲み忘れなどが無いために服薬の確認をしている。症状の変化を把握するように努めている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質多い食材や、乳製品を取り入れたり、水分補給に心がけている。また、体を動かす機会を設けて、できるだけ自然排便できるようにしている。必要時下剤の服用や浣腸し、便秘にならないようにしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯みがき等の声かけをし、スタッフが見守り、必要時介助を行なっている。就前は義歯ははずし洗浄を行なっている。(ポリデント週2回使用)		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取状況を毎日チェックし、スタッフが情報を共有している。食べる量・栄養バランス・水分不足が起こらないようスタッフ全員が意識を持ち取り組んでいる。		研修や勉強会をする。
			(外部評価) 食事は毎食「できるだけ多品目の食材をバランスよく」支援できるよう努めておられる。食事制限のある方は、主食や麺を少し減らす等、他の方とあまり差が分からないようにされていた。コーヒー等は、いつでも飲めるように置かれている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 起こりえる感染症についてのマニュアルを作成し、感染予防・早期発見・早期対応に努めている。また同意をいただき利用者、スタッフともにインフルエンザ予防接種を受けている。石鹸手洗い、ペーパータオルを使用するなど、予防にも徹底している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板は毎晩漂白、布巾は煮沸消毒し、冷蔵庫は点検、清掃、食材の残りは鮮度の状態や状態を確認し、冷凍したり処分したりしている。新鮮で安全な食材を使用するため、最低2日に1回買い物を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にはベンチやプランターなどを置き、玄関先には生け花を生けたりして明るい雰囲気になるようにしている。また、利用者が活用できるようにウッドデッキも手作りで設置している。		車椅子の方や階段が困難な利用者のために玄関先にスロープを検討中である。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 料理のできる匂い、心地のよい音楽、鍋料理やバーベキュー、季節の花など、五感や季節感を意識的に取り入れ工夫をしている。日差しの強いところには簾を使用している。 (外部評価) 居間は、広い窓から自然光が入り、風が通っていた。ウッドデッキがあり、玄関前にはベンチが設置されていた。	※	玄関前の階段は、利用者の身体状況によっては、ご自分で上がり降りができない方もある。又、車椅子の方への配慮等、この機会に、法人も含め、利用者の状況を踏まえ、設備面についても話し合われてみてほしい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関やリビング、ウッドデッキやソファ等、花や写真や本などを置き居心地のよい空間作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者の好みや、なじみの物等を生活スタイルに合わせて用意していただき、利用者の居心地のよさに配慮している。(筆筒、置物等)		家族の方にも協力を得、写真や家族の写真を飾ったりしている。
			(外部評価)		
		お気に入りのお人形・草花（アジサイ・観葉植物）・デイサービスで自分が作った折り紙作品が飾られていた。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			一定の時間に換気をしており、冷暖房は+・-5℃を基本に利用者の様子に注意して調節を行なっている。トイレはこまめに清掃し換気扇と消臭剤で悪臭がでないように、快適に使用できるように努めている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせて、手すりや浴槽、トイレ、廊下などの住居環境が適しているか見直し、安全確保と自立への配慮をしている。		一人一人の状態や変化に応じて、わずかな段差や家具の配置など生活空間で転倒につながる原因がないかを常にチェックし、検討していく。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			本人にとって出来る事出来ないことを把握し、状況にあわせて環境整備に努める。混乱や失敗が生じた場合、その都度スタッフが話し合い、不安を取り除き、できるだけ自立して暮らせるよう表示や矢印、目印等工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に花や野菜を植えて、利用者が楽しめるよう環境作りをしている。玄関先やくつろげるところにベンチを置いて涼んだり日向ぼっこが出来よう工夫している。ウッドデッキも中庭に設置し活用している。重度化した利用者も外気浴を楽しめるよう配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ケアプランに利用者の希望欄を設けており、意向を汲むよう努めているが十分とはいえない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	業務に追われがちだが、利用者それぞれの必要性に応じ工夫をして場面を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活暦や習慣、性格や体調等を総合して、一人一人のペースを守るように配慮している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常に笑いや安心が保てるよう、会話や行事、レク等で工夫している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	トイレ等を考慮し、外出場所をスタッフ側が検討しての外出だが月1回程度は全員で出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康チェック、状態把握、早期発見、治療に努めているが、介護度、認知度が上がり、グループホーム対応が困難なケースもでてきた。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	努力しているが、スタッフ不足やスタッフの経験不足により、柔軟とはいいがたい場合もある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	コミュニケーションを心がけているが、難しいケースもある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ ③ たまに 4 ほとんどない	元利用者の家族や知人の訪問がある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② ② ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	民生委員、地区区長とのつながりを通して、施設見学等の予定している。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② ② ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務にゆとりがないとき等、限界と疲れが見られ、生き生きとはいいがたいことがある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の重度化に伴いケアに手がとられ満足とはいえない場合がある。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② ② ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	おおむね満足と思われるが、全てに満足することは難しい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

「お一人お一人を大切に、和と穏やかさを大切に」という理念の基、日々お世話をさせていただいています。ホームは静かな住宅地で田園に囲まれ、平屋作りで、併設のデイサービスとは廊下を経て、つながっており、行き来が自由で開放感がある作りになっています。デイサービスとは趣味や行事など、一緒に活動することもあります。中庭には花や野菜作りをし、ウッドデッキでバーベキューやおやつを楽しんだりします。できる限り、散歩やドライブ、買い物など外出も取り入れています。日々お一人お一人を大切に、楽しく安心して暮していただけるよう務めています。